登米市生活支援体制整備事業
協議体報告

社会福祉法人　登米市社会福祉協議会

©2018.7 登米市社会福祉協議会

●協議体設置時期

平成２８年４月

●設置圏域

第一層…登米市全域

第二層…日常生活圏域（迫圏域）

（登米・東和圏域）・（中田・石越圏域）

（米山・南方圏域）・（豊里・津山圏域）

登米市日常生活圏域

中田・石越圏域

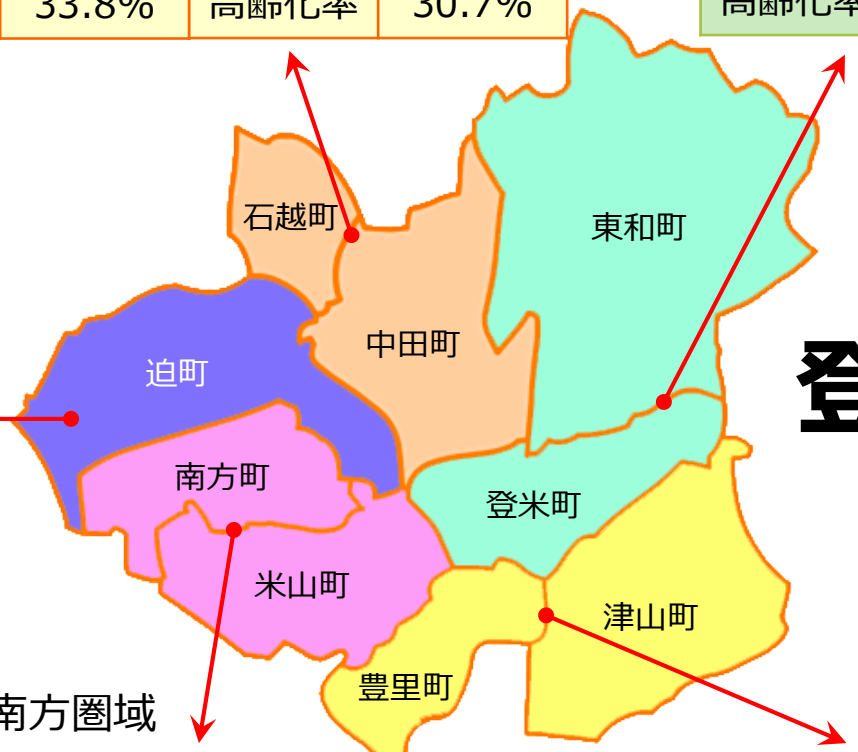
（中田町）		（石越町）		（圏域合計）	
人口	15,887	人口	5,059	人口	20,946
世帯数	5,028	世帯数	1,590	世帯数	6,618
高齢化率	29.8%	高齢化率	33.8%	高齢化率	30.7%

登米・東和圏域

（登米町）		（東和町）		（圏域合計）	
人口	4,789	人口	6,616	人口	11,405
世帯数	1,654	世帯数	2,402	世帯数	4,056
高齢化率	35.9%	高齢化率	37.5%	高齢化率	36.8%

迫圏域

（迫町）	
人口	20,961
世帯数	7,521
高齢化率	28.2%



米山・南方圏域

（米山町）		（南方町）		（圏域合計）	
人口	9,419	人口	8,781	人口	18,200
世帯数	2,831	世帯数	2,653	世帯数	5,481
高齢化率	34.0%	高齢化率	29.7%	高齢化率	31.9%

豊里・津山圏域

（豊里町）		（津山町）		（圏域合計）	
人口	6,715	人口	3,380	人口	10,095
世帯数	2,143	世帯数	1,102	世帯数	3,245
高齢化率	30.4%	高齢化率	34.6%	高齢化率	31.7%

●協議体の目的（詳細は運営規程参照）

・定期的な情報共有、連携強化の場。

・多様な主体が協働し資源開発等を推進。

●協議体の役割

（１）地域ニーズ及び地域資源の把握・情報の見える化の推進

（２）企画、立案及び方針策定

（３）地域づくりにおける意志統一

（４）情報交換の場の整備

（５）その他事業の実施に関し必要な事項

●協議体の構成・人員

協議体の構成は、各団体から推薦を受けた者をもって構成。
または住民の中から地域づくりの意識の高い者へ就任依頼。

- **構成人員：２０名以内。**（構成メンバーは別紙）
- **任　　期：１年間。**（1年間の受託契約のため。）
- **委　嘱　状：年度初めに委員へ委嘱。**
- **費用弁償：日額/1,800円**（本会規程に準ずる）

●協議体のメンバー（人選）は？？

年度初めに会議を開くことが決定していたので、各支所で団体へ推薦、依頼。

↓

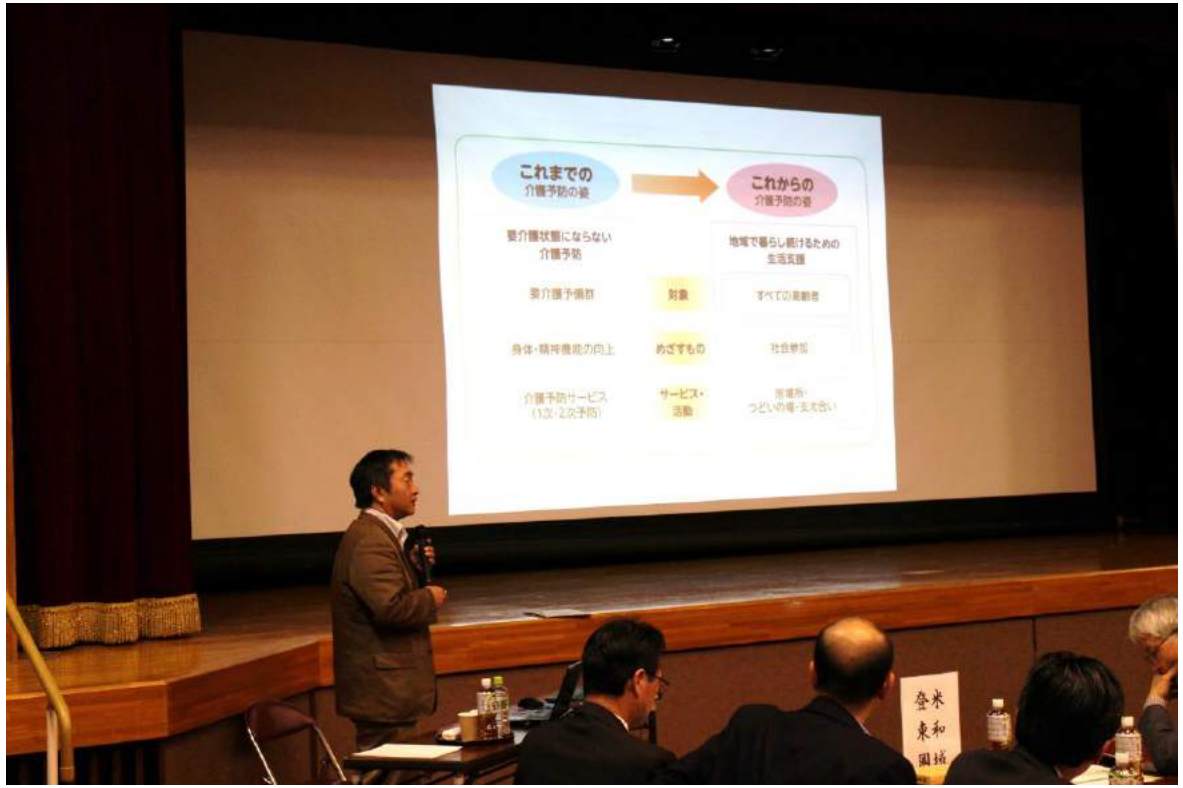
依頼する側も、される側も事業に対する理解不足なまま始まった…理想としては

①住民へ事業周知・理解を得る

②その中から活発に意見を言う人、地域づくりに熱心な人を参画

●初年度第１回目

4/27：研修会及びグループワーク



６圏域が一堂に！
まずは地域を見つめ直す!!

緊張しかないSC…

第１回目の協議体では…自分の地域を見つめ直し意見交換

（意見抜粋）

◆昔はあったがなくなった

・近所でのお茶飲み　・井戸端会議　・隣近所のつながり
・子ども注意する大人　・怖いおじいさん、おばあさん
・子どもの遊び場
・歩いて行ける店　・物の貸し借り　・結　・契約講　・絆
・地区のお祭り　・がき大将　・縁側　・仲人
・妻の愛？

◇今あってこれからもあってほしい

・人情　・親の小言　・集会所　・神社、寺
・結　・講　・絆　・助け合い　・支え合い
・ミニデイ　・仲間づくり　・自然　・緑　・田畑　・学校
・グループの見守り　・墓守り

◇今はないが今後必要なこと

・近所のおせっかいさん（世話焼きさん）
・地域にお店　・飲み会（集いの場）
・近所のコミュニケーション　・高齢者の見守り
・公共交通機関　・市民バス　・地区のお祭り
・病院（小児科、産婦人科）
・共同生活の場（独居同士で食事など）
・地域内の助け合い（サービス）

◆今はあるがなくなるだろう…

・仕事　・農業　・若者　・集落　・老人クラブ　・近所づきあい
・伝統芸能　・昔からの風習　・個人商店
・子供達との交流　・スポーツ少年団
・コミュニティ　・義理人情　・契約講
・嫁との同居　・ゆとり

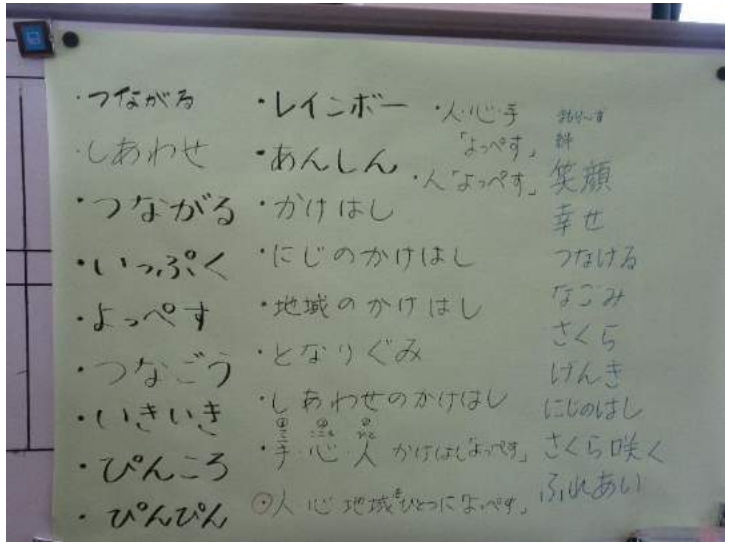
●第２回からはそれぞれの圏域ごとに

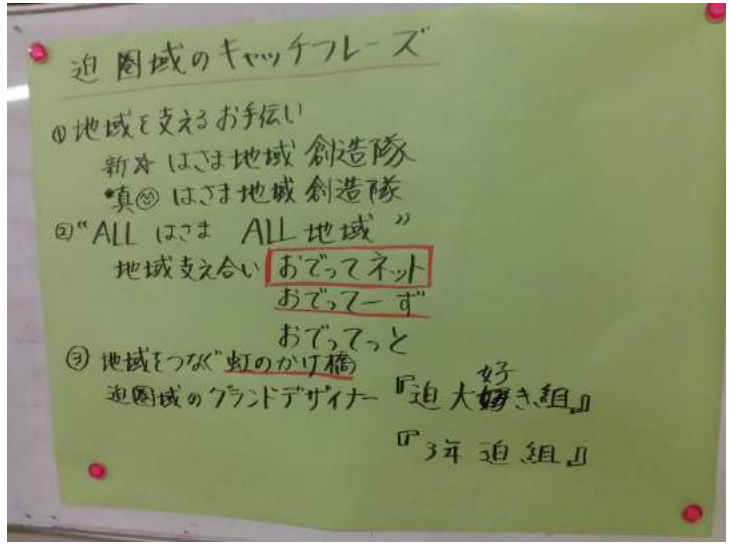
共通テーマ

「生活支援体制整備事業という名称は、分かりにくい!!

住民にイメージしやすいキャッチフレーズ

をつけよう！」





各圏域の取り組み

迫圏域キャッチフレーズ

～地域支え愛～

おでってNet

迫地域に、近隣同士の支え合い活動の輪を広げていきましょう！の意味を込めて、「おでって」（お手伝い）のネットワーク活動波及への狙いが込められている。

●これまでの意見等

・ボランティア（担い手）の育成
・美里町生活支援体制整備事業協議会視察来所
・はっぴー事業の復活
・ボランティア山の神（美里町）視察研修
・集会所の無い地域に集いの場を広げたい
・グラウンドゴルフ交流大会を開いて、楽しみながら事業推進を図る

⇒集会所の無い地域、ミニデイを行っていない地域に
“集いの場を広げたい”

行きつけサロン「おでって」開催

「今まではミニデイやってなかったけど…
もっと地域で集まりたい!!」

⇒ミニデイ新規開催へ

登米東和圏域キャッチフレーズ

～明日も元気で～

おみょうにち♥

「おみょうにち」には、「明日も元気でまた会いましょうね！」という前向きな意味があり、この言葉を通して地域住民が顔の見える関係性を構築していこうという意味が込められている。

●これまでの意見等

・土砂災害の危険性の高い地域。日頃の見守りなど助け合いを広げることが課題
・男性の社会参加機会の創出
・空き家を活用して高齢者の集い場を！（借りる方だけでなく、貸す方にもメリットが必要ではないか？固定資産税の減免等）
・仙台市「オレンジねっと」視察

東和町：男愉～会（だんゆうかい）

男性の社会参加機会が少ない現状から、東和町域３地区（米谷・米川・錦織）で公民館の協力を得て立ち上げ。

楽しいことなら、集まってくる！

おとこの遊び場　第二回

まいや男愉～会

開催日　二月二十二日（木）九時半～

場所　米谷公民館

参加対象者　米谷地区男性

参加費　無料

内容　健康マージャン、囲碁、将棋、オセロ、花札、クロスワードパズルなど

いい事がいっぱい
楽しい事がいっぱい
・お金を掛けない、タバコを吸わない、お酒を飲まない　……　健全！
・頭と指先を使うので　……　脳の活性化に効果あり！
・趣味が活かせる・見つかる・楽しめる　……　楽しい地区になる！

活動目的
・楽しむ事！
・考える事!!
・話す事!!!

※参加申込み不要。ご自由にお出で下さい。
※三回コースで開催します。三回目、三月二十二日。途中参加でも構いません。
※女性の方の参加もお待ちしております。

問い合わせ：登米市社会福祉協議会東和支所　電話：0220-45-2139

中田・石越圏域キャッチフレーズ

～支え合い～

かわりねすか

「かわりねすか」＝「お変わりありませんか」の意味で、この言葉を通じて地域住民が気軽に挨拶を交わし、互いを気遣う支え合いの地域づくりを目指す。地域のつながりはまず挨拶から。

●これまでの意見等

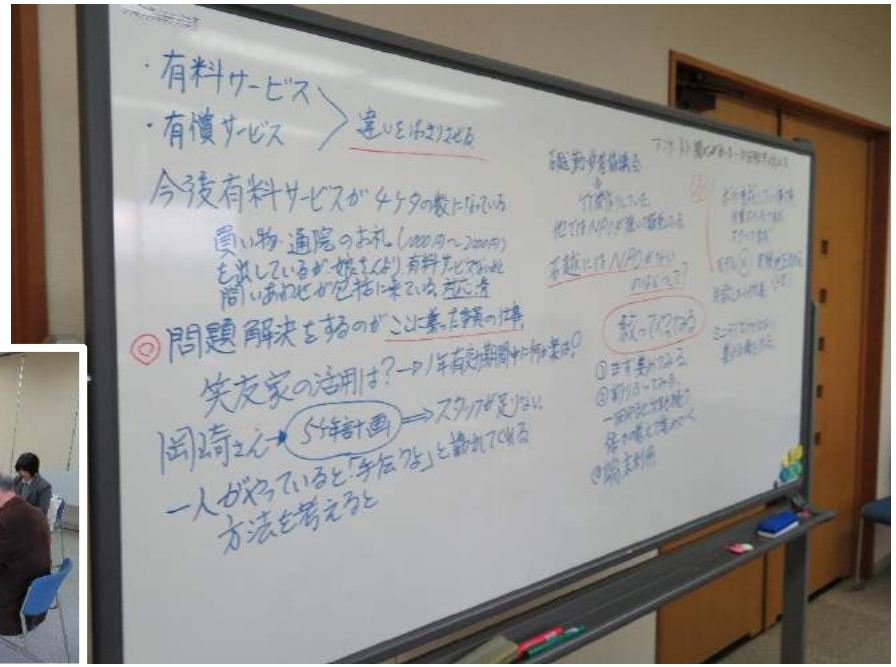
・移動支援を住民主体で行う場合…責任と保険は？
・柴田町「ふれあいネットワーク互助事業」視察
・中田と石越では地域性、委員の意識にも差がある。
⇒連絡会として別々に実施
（中田）住民への周知が不足
（石越）地域の生活課題を把握し、今後の支援につなげるため「アンケート調査」を実施

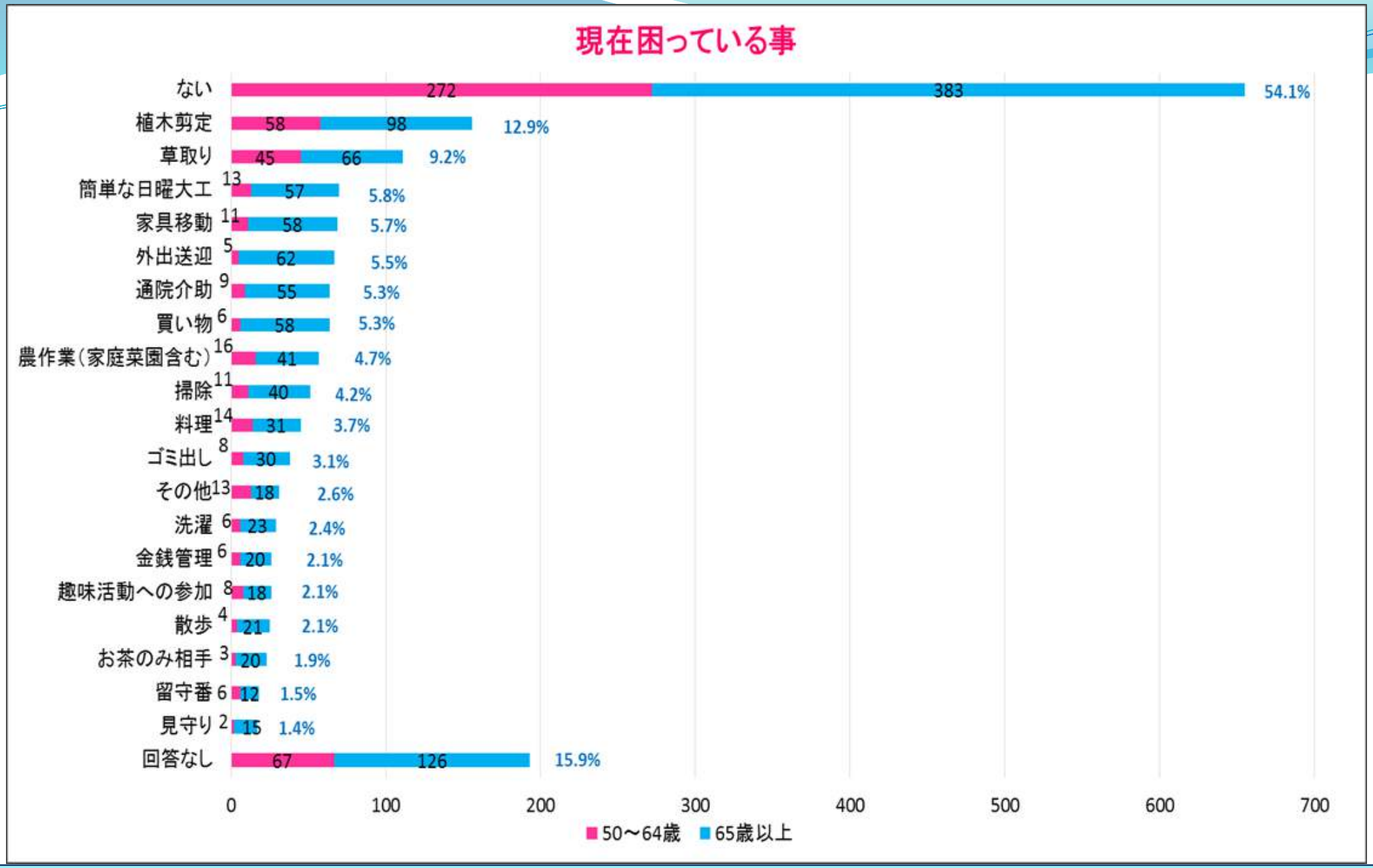
（中田）住民への周知不足

⇒ご近所福祉クリエーター 酒井保 氏による研修会
「石森・宝江地区」
「上沼・浅水地区」２回に分け実施

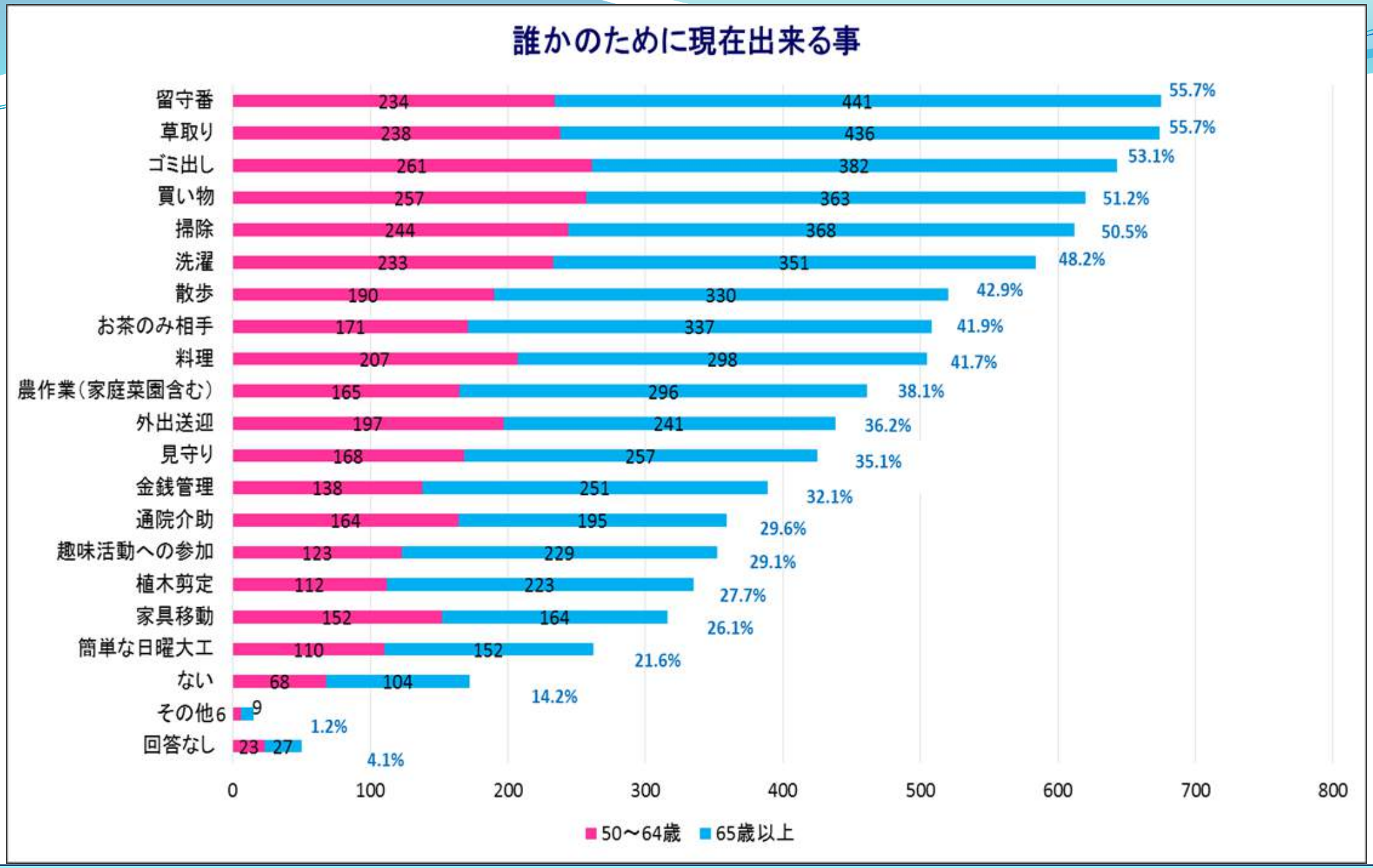
（石越）アンケートの結果

⇒①行政区ごとアプローチ
（意識付け）
②石越町として何が
できるか検討





（石越）アンケートの結果（一部抜粋）①



（石越）アンケートの結果（一部抜粋）②

米山・南方圏域キャッチフレーズ

～人・心・地域をひとつに～

よっぺす

社会参加は介護予防にもつながり、そうして出会った仲間とちょっと困った際に助け合うことが、「生活支援」にもつながる。そのためには地域に気軽に寄れる「集いの場づくり」が必要であり、まずは『よっぺす』の合言葉の下、集うことを広げる。

●これまでの意見等

・男性の健康寿命を延ばすことが重要
・「白石市高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業」視察研修
・米山と南方では地域性、委員の意識にも差がある。
⇒分科会として別々に実施。（最後に全体共有）

丸２年が経過し、ようやくワイワイガヤガヤ

（米山）

・米山総合保健福祉センターロビーに、住民が自由にお茶を飲んで集える場「よっぺすカフェ」を設置。

⇒カフェ周知・事業啓発を兼ねて「よっぺす講座（介護予防教室）」を年５回コースで実施。

⇒**Ｈ30年度は、協議体委員が講師を務め、講座を実施へ！**

（南方）

・南方には自由に集える場が少ない。

・サークル仲間、気軽に寄れるカフェ等を協議体で検討できないか？

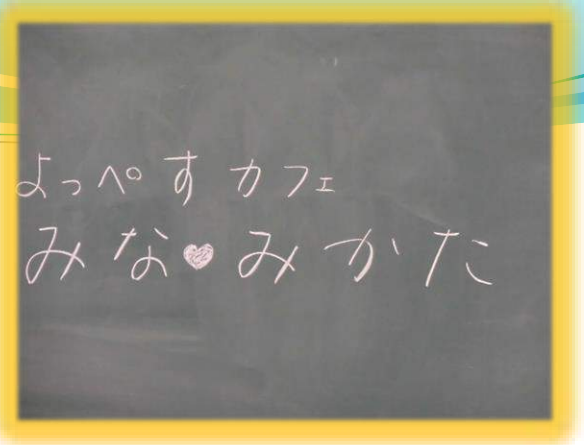
⇒遊休施設の活用を模索したが、ハードルが高い。

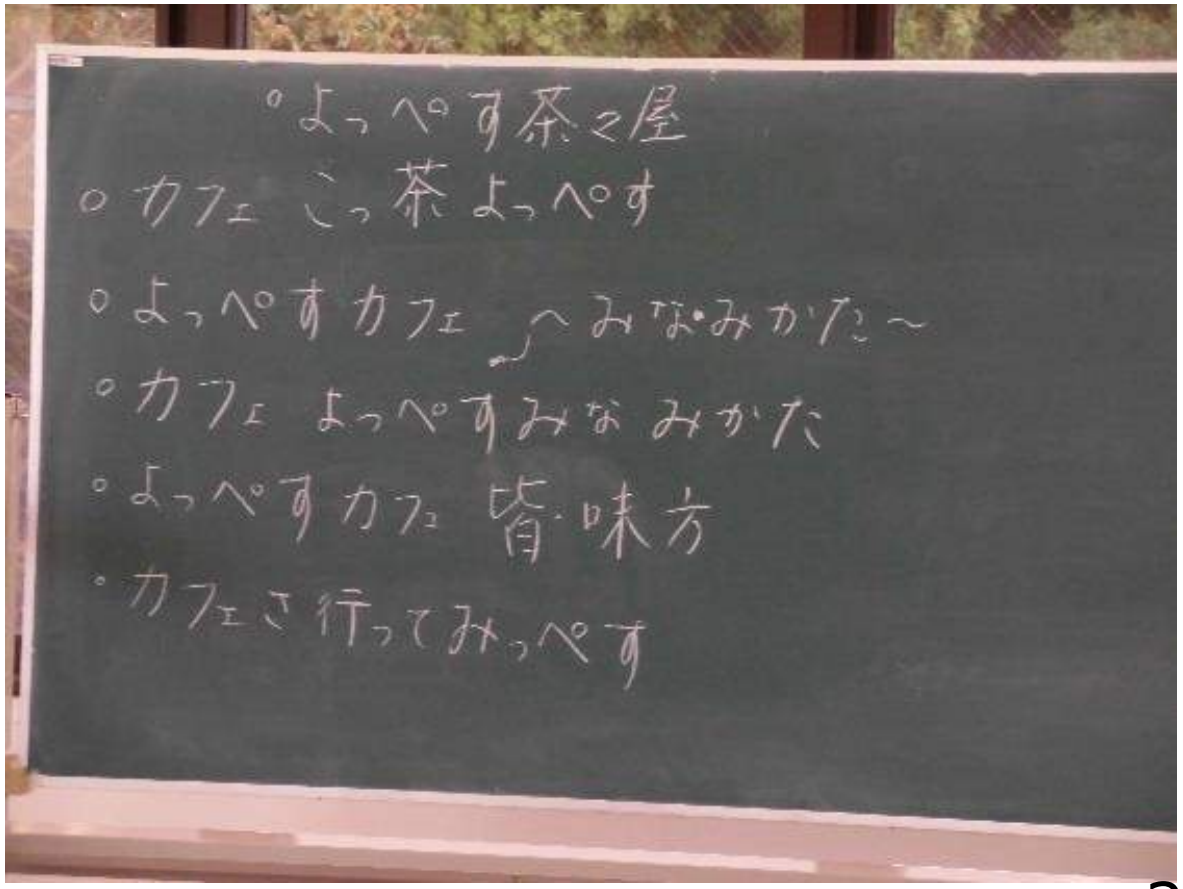
⇒協議体委員でもある南方公民館ロビーを活用。

⇒委員が自主的に集まり、

『気軽に寄れるカフェ』実施へ話し合い。

カフェができるまで①
「カフェの名前を決めよう」





「よっぺすカフェ みな♡みかた」ができるまで②

◆しっかり打合せ

◆姿勢を正してオープン当日

「よっぺすカフェ みな♡みかた」ができるまで③

◆全景

◆分量ＯＫ？集中！集中！

協議体委員が運営!!

「よっぺすカフェ みな♡みかた」は担い手掘り起しの場

◆私もハンドマッサージでお手伝いするよ！

◆私も月1回ならお手伝いできるよ！

参加者から運営側に！

豊里・津山圏域キャッチフレーズ

～人と人とをつなぐ～

ゆいつこ

「結（ゆい）」とは、主に小さい集落などで行われてきた共同作業の制度で、集落の住民総出で助け合い、協力し合う相互扶助の精神で成り立ってきた。現在はこの制度も影を潜めてきたが、またこのような相互扶助の精神を“豊里・津山地域”に取り戻そうという願いが込められている。

●これまでの意見等

・美里町「ボランティア山の神」来所、研修会
・豊里と津山では地域性、委員の意識にも差がある。
　⇒分科会として別々に実施。（最後に全体共有）
（豊里）
・高齢者の社会参加、生きがいづくりの場として水辺の公園パークゴルフ場を活用しては？

・健康づくりへの意識付け、事業啓発を目的に、「豊里地区健康づくり研修会」を実施。

◆区長、民生委員、福祉活動推進員などに声掛け、グラウンドゴルフで交流

◆豊里地区の手芸、裁縫などの活動者の発表の場「青空マーケット」

●これまでの意見等

（津山）

・津山地区で孤立死が起きたことをきっかけに、見守り体制を強化しよう。

⇒見守りだけでは対処できない。

⇒対象者にも社会参加を促し、

「見守られ」につなげよう。

津山町：ゆいっこ茶屋

　高齢者の見守りには限界がある。気軽に集える場を作り、“見守られ”を生み出そう！から月1回、津山町の柳津地区・横山地区を持ち回りで実施。

ゆいっこ茶屋からの派生

　ゆいっこ茶屋には男性が少ない…男性限定で「健康マージャン」を実施。**『もっとやりたい！』の声**から、「健康マージャン&将棋の会」として週１回実施へ！

今までは何もやることがなくて家に籠ってたけど、これからはマージャンが予定になったよ！

毎週の楽しみと生きがいに！！

登米市全域キャッチフレーズ

～たすけ合い・ささえ合い・おらほの宝～

おたがいさま

地域にある人や活動は、地域の「宝」です。また、ささえ合いの基盤ともなっています。それを大事に育みながら、「おたがいさま」のたすけ合い、ささえ合いの広がる地域を目指していきます。

市全域での課題

『交通弱者の社会参加、買い物等への移送支援策』

【これまでの意見等】

・移動支援といっても…
「自由に」「いつでも」「どこでも」「だれでも」を叶えるには障害が多すぎる。

⇒車輌・人材の確保、タクシー協会、公共交通会議、お金が絡むと運輸局への届け出も必要

社会福祉法人は地域貢献活動が義務化されている。
市内の事業所などと連携し取り組むことはできないか。
⇒通院・買い物のニーズから、まずは「買い物支援」に絞って検討。
⇒グループワークなどで検討。
⇒市内全域を統一した形で実施するより、地域ごとの資源を活用した形で進めてはどうか。その地域の人や、協力者を混ぜて話し合いを行った方が良い。
⇒迫町森地区では公民館車輌を住民に貸し出し可能。（森地区をモデルに検討）

広範囲（第一層）

登米市内全域の課題として、「高齢者の移動問題」が大きなテーマとなっています。まずは「買い物支援」から具体的方法について協議を重ねています。また、モデル事業の内容検討・審査も実施。

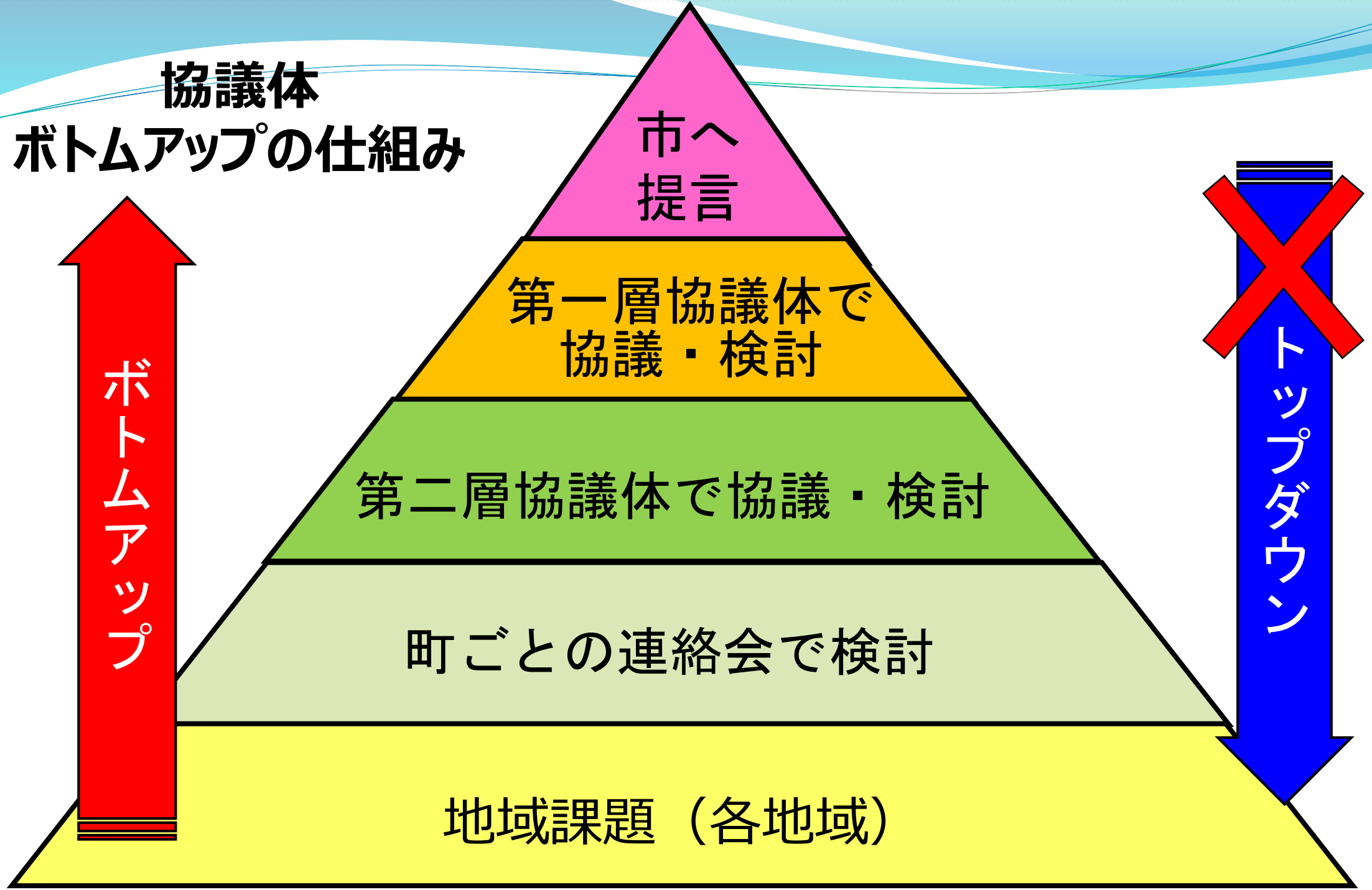
各地域（第二層）

まずは、圏域ごとに「この地域に必要なこと。」を協議・検討し、『これだったらできそう』『こんな取り組みが必要』を実践し、地域活動のヒントや初めの１歩を目指します。地域との橋渡し役！

協　議　　実　践

委員の声を活かす！反映させる！

協議体
ボトムアップの仕組み



第一層	第二層（包括設置圏域）	町域	コミュニティ	行政区
登米市	迫圏域	迫町	佐沼	２６行政区
			森	４行政区
			北方	１０行政区
			新田	１５行政区
	登米・東和圏域	登米町	とよま	３８行政区
		東和町	米谷	６行政区
			錦織	９行政区
			米川	１０行政区
	中田・石越圏域	中田町	石森	２０行政区
			宝江	１０行政区
			上沼	１５行政区
			浅水	９行政区
		石越町	石越	２１行政区
	米山・南方圏域	米山町	西野	９行政区
			吉田	１６行政区
			中津山	１１行政区
		南方町	中央	１２行政区
			西郷	８行政区
			東郷	８行政区
	豊里・津山圏域	豊里町	豊里	２０行政区
		津山町	津山	２５行政区

課　題

○行政の設定した日常生活圏域は広すぎる。
　（住民の日常生活圏域？）
○話し合いを活発化するには１０人前後がベスト
○包括支援センター主催の地域ネットワーク会議、
　地域ケア会議と重複していないか。
○委員が主体的に話せるようなテーマ設定、
　ファシリテーションの手法が必須。
　（ワイワイガヤガヤで終わってしまう。）

課　題

〇年３回開催と規程されているが、間が空きすぎると前回の意欲や意見が薄くなる。

「鉄は熱いうちに打て!!」

⇒他市の事例

（多賀城市：毎月定例開催。テーマを設けずに話し合ってきた。ワイワイガヤガヤするが、最近マンネリとのこと。※協議体ではなく、「アスナロ（明日なろう）会」という名称で実施。）

課　題

○協議体で話し合っていることは、担当主管課へ報告しているが、庁内で共有されているか。
⇒こんなことがありました…

◆第一層協議体で高齢者の移動の問題を話し合っているが…先日の議会だよりで知ったこと、「デマンドタクシーを全市展開」へ！
⇒あっちでも、こっちでも動くのは…非効率！
⇒協議体の役割って…？？

福祉事務所　長寿介護課（生活支援体制整備事業主管課）、生活福祉課（民協・生保・障害福祉等）、子育て支援課、市民生活部健康推進課（地域包括ケアシステム推進主管課）、企画部市民協働課（コミュニティ地域づくり計画・集落支援員主管課）、教育委員会（生涯学習・スポーツ振興・学校教育）、各総合支所市民課（行政窓口機能）、社会福祉協議会が連携して。

地方創生
コミュニティ基盤強化

地域振興

今こそ
「我が事・丸ごと！」

地域福祉

地域包括ケア

生活支援体制整備事業

10年先の地域づくり

介護予防・健康づくり

共通キーワード